

2025年度 環境活動報告書

ローム株式会社 滋賀工場



企業目的

われわれは、つねに品質を第一とする。
いかなる困難があろうとも、良い商品を国の内外へ永続かつ大量に供給し、
文化の進歩向上に貢献することを目的とする。

会社情報

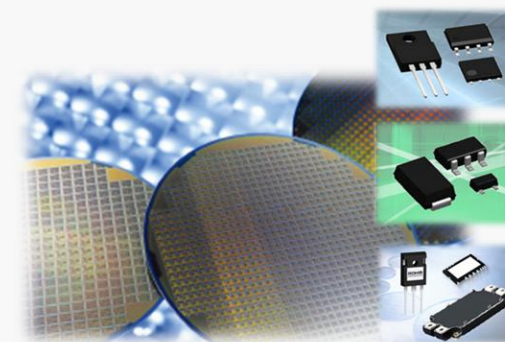
設立年月日	1958年9月17日	
資本金	86,969百万円	(2026年3月31日現在)
代表者	東 克己	
売上高	481,148百万円	(2026年3月期)
従業員数	21,756人	(2026年3月31日現在)
グループ会社	国内 4社	海外 28社

製品

LSI	アナログ、ロジック、メモリ
半導体素子	トランジスタ、ダイオード、パワーデバイス 発光ダイオード、半導体レーザー
モジュール	プリントヘッド、オプティカル・モジュール
その他	抵抗器など

《工場概要》

■ 所在地	滋賀県大津市晴嵐二丁目8番1号
■ 設立年月日	2015年4月20日
■ 事業内容	ダイオード、トランジスタ、IGBT
《沿革》	
2016年	2月1日 ローム滋賀株式会社操業開始
	8月22日 トランジスタ量産投入開始
	11月15日 ダイオード（RASMID）量産投入開始
2017年	8月10日 ISO9001（2015）認証登録
	11月10日 ISO14001（2015）認証登録
	12月27日 ダイオード（SBD）量産投入開始
2018年	10月2日 OHSAS18001認証登録
	11月9日 IATF16949（2016）認証登録
2019年	4月12日 IGBT量産投入開始
2020年	4月1日 ローム株式会社に統合、滋賀工場として操業開始



ISO 14001

マネジメントシステム登録証

COPY

登録証番号：JQA-EM0170

登録事業者：
ローム株式会社
 本社
 京都市右京区西院満崎町2-1

当機構は、上記事業者の環境マネジメントシステムを審査した結果、付属書に記載する範囲において、下記規格の要求事項に適合していることを証します。

ISO 14001 :2015 / JIS Q 14001 :2015

登録日：1998年 5月 29日
 登録更新日：2024年 11月 17日

有効期限：2027年 11月 16日

本登録証の有効性は、当機構までお問い合わせの上、確認することができます。

ISO 14001 :2015 / JIS Q 14001 :2015

登録日：1998年 5月 29日
 登録更新日：2024年 11月 17日

有効期限：2027年 11月 16日

本登録証の有効性は、当機構までお問い合わせの上、確認することができます。

一般財団法人 日本品質保証機構

東京都千代田区神田須田町1-25

理事長 石井 裕 晶

Member of

本証には付属書がありますので、合わせてご覧ください。

23.05 D7501205

本証は本証の一部のため、合わせてご覧ください。

23.05 D7501206

ISO 14001

付属書

COPY

登録証番号：JQA-EM0170 1 / 3

登録事業者：
ローム株式会社
 本社

登録活動範囲：
 半導体をはじめとする電子部品等の設計・開発、製造、販売及び物流管理

関連事業所：

- ・ローム株式会社 本社
 京都市右京区西院満崎町2-1
 [LSI及び電子部品等の設計・開発、製造及び販売]
- ・ローム株式会社 滋賀工場
 滋賀県大津市曙坂2-8-1
 [ディスクリート半導体(前工程)の製造]
- ・ローム株式会社 横浜テクノロジーセンター
 横浜市港北区新横浜2-4-8
 [LSIの設計・開発及び販売]
- ・ローム・ワコー株式会社
 岡山県笠岡市宮岡100
 [LSI、ダイオード、発光ダイオード及び半導体レーザの製造]
- ・ローム・ワコー株式会社 ロジステックセンター
 岡山県浅口市鴨方町益坂7-5
 [ロームグループ製品の物流管理]
- ・ローム・アポロ株式会社 本社
 福岡県八女郡広川町大字日吉1164-2
 [トランジスタ、ダイオード、タンタルコンデンサ、抵抗器、モジュールの製造]

登録日：1998年 5月 29日
 登録更新日：2024年 11月 17日

有効期限：2027年 11月 16日

本登録証の有効性は、当機構までお問い合わせの上、確認することができます。

一般財団法人 日本品質保証機構

理事長 石井 裕 晶

Member of

本証は本証の一部のため、合わせてご覧ください。

23.05 D7501206

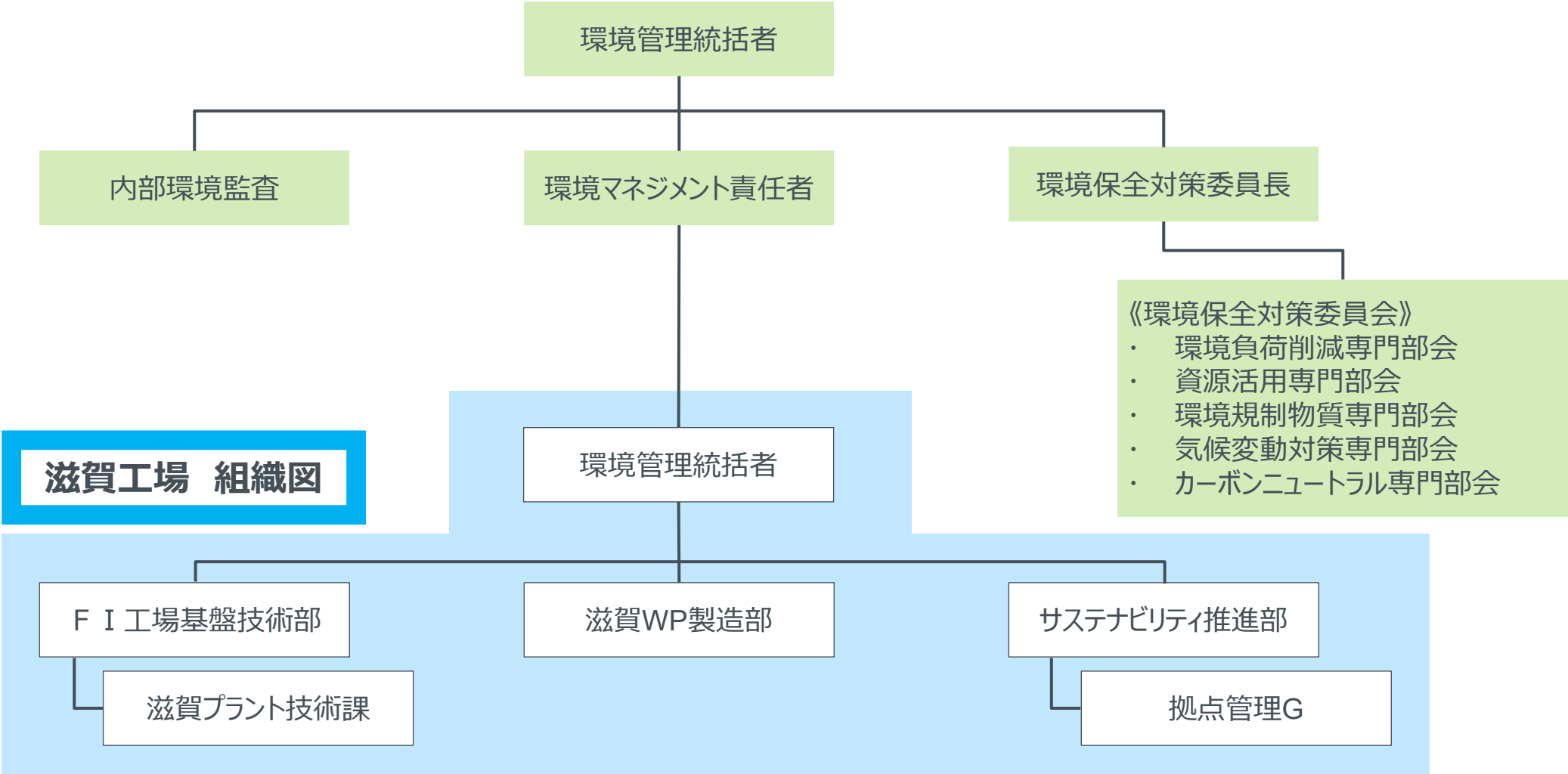
本証は本証の一部のため、合わせてご覧ください。

23.05 D7501206

© ROHM Co., Ltd.

4

環境管理活動を効果的・効率的に推進するための環境マネジメントシステム（EMS）により活動を行っております。



われわれは、つねに地球環境保全に配慮し、人類の健康的な存続と企業の恒久的な繁栄に貢献するものとする。

1. 持続可能な社会の実現に向け、資源の有効活用を促進すると共に、環境汚染の予防と生物多様性に配慮し、環境保全活動に取り組む。
2. 環境パフォーマンス向上のため、環境目標の立案、実施計画の遂行、環境パフォーマンスの監視・評価をする一連の環境マネジメントシステムを確実に運用し、課題を継続的に改善する。
3. お客様の省エネ・小型化に寄与する環境配慮型製品を開発することで、環境問題等の社会的な課題の解決・軽減に貢献する。
4. 開発から調達・生産・物流・販売までの一連の事業活動を通し、環境負荷の最小化を追求するため、エネルギー・原材料・水資源の有効活用、温室効果ガス・廃棄物・水の排出量削減、材料や副資材に含まれる化学物質の確実な管理に取り組む。
5. 生活環境や地球環境に配慮する社員の育成と関係者の啓発に努める。
6. 国内外の環境法規制や地域協定及び、同意したお客様等の要求事項を遵守する。
7. 環境情報の適切な開示や地域環境への貢献により、ステークホルダーとの連携・協働を図る。

ロームグループは、持続可能な社会の実現に向けて「ロームグループ環境ビジョン2050」を策定しています。
「気候変動」「資源循環」「自然共生」を重点テーマとし、2030年目標および2050年ビジョンの実現に向けた活動を推進しています。



 気候変動 CO2排出量実質ゼロ	「気候変動」対策を持続可能性の実効性を図る重要な指標とし、事業活動により発生する2050年度のCO ₂ 排出量実質“ゼロ”を目指します。
 資源循環 ゼロエミッション	開発から調達・生産・販売までの一連の事業活動を通し、限りある資源の無駄をなくするため、資源循環の最大化に取り組みます。
 自然共生 自然サイクルと事業活動の調和	地球の生物多様性が生み出す自然の恵みを大切に、地球環境をより良い状態で次世代に引き継いでいきます。



ロームグループ 環境ビジョン2050

排ガスの定期分析を実施し、法令、協定及び社内管理基準への適合を確認した。継続的な監視を通じて、環境負荷の低減及び大気汚染の未然防止に取り組んでいる。

排ガス定期分析管理

- 分析頻度：1回／半年
- 排ガス定期分析結果：定期分析を実施し、法令及び社内基準への適合を確認した。

測定項目	フッ素化合物 (mg/m ³ N)	塩素化合物 (mg/m ³ N)	NOx (cm ³ /m ³ N)
大津市条例	3	40	120
社内管理基準	1.6	24	96
測定結果 (A1)	<0.1	<1	<5
測定結果 (B1)	<0.1	<1	<5
測定結果 (B2)	<0.1	<1	<5
測定結果 (B3)	<0.1	<1	<5
測定結果 (B5)	<0.1	<1	<5
測定結果 (B102)	<0.1	<1	6
測定結果 (B105)	<0.1	<1	<5

■ 排ガス処理施設



排水の定期分析を実施し、法令、協定及び社内管理基準への適合を確認した。継続的な監視を通じて、水質保全及び環境汚染の未然防止に取り組んでいる。

排水定期分析管理

- 分析頻度：1回／毎月
- 排水定期分析結果：定期分析を実施し、法令及び社内基準への適合を確認した。

測定項目	pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	フッ素 (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)
大津市条例	6.0～8.5	20	20	8	8	0.8
社内管理基準	6.5～8.0	7.5	10	6	4	0.4
測定結果	7.4	<0.5	2.7	1.8	1.9	0.03



排水処理施設として
pH・F・P・N・CODを常時監視

■ 排水処理施設



騒音・振動・臭気の定期分析を実施し、法令及び協定基準への適合を確認した。継続的な監視を通じて、地域環境への影響低減及び生活環境の保全に取り組んでいる。

騒音・振動・臭気定期分析管理

- 分析頻度：1回／毎月
- 定期分析結果：定期分析を実施し、法令及び社内基準への適合を確認した。

騒音測定項目	定点				クロス
	朝 (6：00～8：00)	昼間 (8：00～18：00)	夕 (18：00～22：00)	夜間 (22：00～翌6：00)	6か所 (10：00～15：00)
大津市条例	65dB	70dB	70dB	60dB	70dB
社内管理基準	65dB	70dB	70dB	60dB	70dB
測定結果	55dB	55dB	55dB	54dB	57dB

臭気測定項目 ※臭気指数	定点
	昼間 (10：00～15：00)
大津市条例	15
社内管理基準	15
測定結果	<10

振動測定項目	定点		クロス
	昼間 (8：00～19：00)	夜間 (19：00～翌8：00)	2か所 (10：00～15：00)
大津市条例	65dB	60dB	65dB
社内管理基準	65dB	60dB	65dB
測定結果	<30dB	<30dB	<30dB

環境保全活動④ リスク対策・環境負荷低減活動

法令および協定基準の遵守に加え、定期分析による監視や緊急時想定訓練を通じて、環境事故および環境汚染の未然防止に取り組んでいます。

リスク対策

- 環境異常想定訓練実績：5件
- 実施概要：薬液漏洩訓練等



環境負荷低減活動

- 毎月施策の進捗管理を実施

GHG関連	
GHG削減施策件数	14件
2025年度効果量	1,505 t -CO2

廃棄物関連	
廃棄物削減施策件数	4件
2025年度効果量	99,697kg

廃棄物適正管理

- 最終集積場パトロール：1回／3か月
- 廃棄物処理委託業者監査：7社実施
- 廃棄物適正管理の維持向上



環境保全活動⑤ 社会貢献・環境意識向上活動

地域社会との共生を目指し、地域環境保全活動への参加及び環境教育を通じて、従業員の環境意識向上と環境保全活動の推進に取り組んでいます。

琵琶湖市民清掃

地域住民や関係団体と協力し、琵琶湖周辺の清掃活動へ参加した。地域環境の美化及び水環境保全への貢献を通じて、環境保全意識の向上を図った。

琵琶湖市民清掃ボランティア

2025年6月8日(日)



暑い中12名の方がご参加くださいました。
ご協力ありがとうございました！



回収したごみの内訳

プラスチック	1袋	燃えるごみ	1袋
ペットボトル	1袋	缶	1袋
その他	1袋	—	—



ヨシ刈り

琵琶湖沿岸のヨシ群落保全活動へ参加し、生物多様性の保全及び水質保全に資する活動を実施した。

市民ヨシ刈りボランティア

○日時：令和8年1月25日(日) 9:00~10:20

○場所：アクティバ琵琶湖



1月25日に市民ヨシ刈りボランティアが開催され、滋賀工場から3名の方がご参加くださいました。冬季に地上の枯れヨシを刈り取ることは、春のヨシの発芽に活力を与え、ヨシの保護育成に効果があるといわれています。大津市でも平成2年度から雄略地域において「ヨシ刈り」「ヨシ焼き」等のヨシ帯の管理を行った結果、ヨシの成育が大変良好であったので、それ以降、毎年ヨシ刈りを実施しています。水質浄化や生物を豊かに育むなど様々な機能を持つヨシ帯を保全するとともに、ヨシを通して琵琶湖と私たちの生活との関わりを見直していただくことを目的とし、今年度も「市民ヨシ刈り」が開催されました。



『大津市雄略地域湖岸のヨシ帯』





Electronics for the Future